

DCエクセレントカンパニー2025 認定チェックシート「継続教育部門の設問と評価点」

評価項目	実施の有無	評価点	記述部分の例
I. 継続教育施策の効果実証			
加入者への継続教育は加入者に情報が届いてこそ実施の意味がある。受講率と効果からその点を確認する			
① 過去3年以内に継続教育を実施した	☐	7点	④の例 ・元本確保のみ選択している加入者の割合 ・マッチング拠出の利用率 ・加入者サイトのアクセス数
② 継続教育の受講率は全加入者の70%以上だった	☐	5点	
③ 継続教育の効果を測る数値を設定している	☐	5点	
④ 継続教育の効果測定数値の中で10%以上改善した項目があればその項目をお書きください	☐	5点	
II. 制度の目的や狙いとの整合性			
継続的に実施する上で制度の現況における問題認識と課題設定を行いそれを解決するPDCAサイクルで実施していくことが必要			
⑤ 教育運営上の課題や狙いが明確である。 貴社が課題として認識されていることを簡潔にお書きください。	☐	7点	⑤の例 元本確保だけで運用している社員を20%程度未満まで減らしたい 制度設計上の想定利回りを全社員が超えるようにしたい マッチングの認知度を高め、利用率も上げる 高コスト商品の選択を同種の低コスト商品の選択に移行してもらう
⑥ 受講結果を踏まえて次回の改善策を検討している	☐	5点	
⑦ 解説すべき課題と実施した継続教育の内容が合致している	☐	3点	
IV. 加入者実態の把握とその対応、改善			
制度活用に必要な情報を多様な社員すべてに届けることは非常に困難ではあるが、その実現に向けた取り組みはすべきである			
⑧ 継続教育は工夫して実施している 貴社が工夫されている内容や方法について簡潔にお書きください	☐	7点	⑧の例 ＜内容の工夫＞ 投資無関心層と投資積極層と分けて参加者の関心に合わせたセミナーを実施した 老後不安を解消するため、公的年金を含めた年金への理解を深める内容とした NISAなどその時の話題のテーマを必ず入れて、マンネリ化を防いでいる ＜方法の工夫＞ マッチングの申込受付期間にあわせて、積立て可能額を全員に通知 マネージャー昇格時などキャリア研修の中で継続教育の枠をもらっている 社内報でDC特集を組み、全員に配布 全員履修のe-ラーニングを定期的実施している
⑨ 関心が低い人も取り残さないよう、DCに関する情報に触れる機会を提供している	☐	5点	
⑩ <u>少なくとも10年に1回は必ず全員が</u> 自らの運用について確認し、考えることができる教育を実施することになっている。 実施している教育内容について簡潔にお書きください	☐	5点	
⑪ アンケートや理解度テストで、加入者の理解度を把握している	☐	5点	
⑫ アンケートや組合経由での意見集約など 加入者・現場の声を拾っている	☐	5点	
III. 経営層の認識、コミットメント			
制度が続く限り教育も継続的に実施する必要がある、そのために経営が制度運営に関心を持ちコミットすることが不可欠			
⑬ 教育運営上の課題や狙いを経営が認識している	☐	7点	
⑭ 経営が継続教育に時間や予算を割くことを了承している	☐	5点	
⑮ 実施後、その結果を経営層まで報告している	☐	3点	
⑯ 継続教育の実績が担当者または担当部署の業務実績として評価される	☐	3点	
V. 持続的な教育運営のための組織的な仕組み			
教育を継続的に実施するためには、属人的な取組みではなく 担当者が異動しても断絶しない体制で行われることが望ましい			
⑰ 継続教育の実施が単年度の取組みではなく、継続的に実施できるしくみとなっている	☐	7点	
⑱ 継続教育実施後のアンケート結果等を踏まえて、複数名（担当部署）で次年度以降の改善策を検討している	☐	5点	
⑲ 担当部署で後任を育てている	☐	3点	
⑳ 事務処理以外の継続教育を実施する上で必要な情報が引継ぎ書として存在する	☐	3点	